



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月31日

上場会社名 株式会社フコク 上場取引所 東
 コード番号 5185 URL <http://www.fukoku-rubber.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 河本 太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務部長 (氏名) 木村 尚 (TEL) 048-615-1700
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	19,117	△1.6	483	△43.4	420	△57.9	397	△37.4
2019年3月期第1四半期	19,432	5.2	854	0.5	998	11.6	634	19.6

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 695百万円(-%) 2019年3月期第1四半期 △306百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	23.98	—
2019年3月期第1四半期	38.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	67,308	32,509	44.7
2019年3月期	67,584	32,036	43.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 30,076百万円 2019年3月期 29,634百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	39,000	0.1	700	△55.8	800	△54.3	700	△44.3	42.26
通期	79,000	1.3	2,000	0.8	2,200	4.4	1,600	—	96.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	17,609,130株	2019年3月期	17,609,130株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,046,179株	2019年3月期	1,046,169株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	16,562,951株	2019年3月期1Q	16,562,995株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	
(第1四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	
(第1四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるグローバルの経済情勢を見ますと、米国景気が総じて堅調な推移を示す一方、米中貿易戦争の影響により中国その他の国々の景気減速が進み、中東では地政学的リスクへの懸念が高まるなど、しだいに楽観を許さない状況を呈しました。

わが国におきましては、内需を軸とした企業業績の好調や雇用情勢の安定などを背景に景況感は概ね緩やかな回復傾向を示したものの、グローバル情勢への懸念が影響して輸出や設備投資が弱含み、株価と為替の変動に悩まされるなど、不透明感を増す状況が続いております。

当社グループの主要顧客先である自動車産業におきましては、EV化等に代表される市場構造の変化が加速する中、世界経済の減速懸念などが逆風となり、グローバル全体の生産が伸び悩む傾向を示しております。

このような状況を受けて当社グループの受注動向も機能品セグメント、中国エリアを中心に減退傾向が表れ、連結売上高は前年同期比1.6%減の191億17百万円となりました。また損益につきましては、減収に加えて人件費率の上昇や為替差損等もあり、営業利益が前年同期比43.4%減の4億83百万円、経常利益が同57.9%減の4億20百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同37.4%減の3億97百万円となっております。

セグメントの経営成績は次のとおりです。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの変更等を行い、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

機能品事業

中国を中心にワイパーブレードラバーやシール部品等の販売が下振れしており、売上高は前年同期比7.4%減の80億47百万円となりました。セグメント利益については、減収、材料費率や人件費率の上昇の影響等によって前年同期比40.2%減の4億22百万円となりました。

防振事業

中国では韓国車向けダンパーの不振が尾を引いているものの、日本車や鉄道、建機向けの販売がカバーするなど全体としては堅調な受注に支えられ、売上高は前年同期比3.2%増の77億19百万円となりました。一方、セグメント利益については、中国の減収インパクト、増産投資先行の負担、材料費率や人件費率の上昇の影響等によって前年同期比3.8%減の7億円となりました。

金属加工事業

主に国内トラック及び小型建機関連の受注が堅調に推移したことから、売上高は前年同期比5.0%増の18億2百万円となりました。一方、セグメント利益については、採用難と人件費率の上昇の影響等によって前年同期比66.8%減の8百万円となりました。

ホース事業

国内外とも主に商用車向けの受注が堅調に推移したことから、売上高は前年同期比9.6%増の9億60百万円、セグメント利益は8百万円となりました（前年同期は20百万円の損失）。

産業機器事業

中国及び国内を中心に受注が伸び悩み、売上高は前年同期比10.4%減の7億50百万円、セグメント利益は同24.0%減の76百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ2億76百万円減少し、673億8百万円となりました。

流動資産は前期末に比べ8億76百万円減少し、373億74百万円となりました。これは主に、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少等によるものです。

固定資産は前期末に比べ6億円増加し、299億33百万円となりました。これは主に、有形固定資産の増加等によるものです。

負債は前期末に比べ7億49百万円減少し、347億98百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、賞与引当金の減少等によるものです。

純資産は前期末に比べ4億72百万円増加し、325億9百万円となりました。これは主に、利益剰余金及び為替換算調整勘定の増加等によるものです。

以上の結果、自己資本比率は44.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の業績予想につきましては、2019年5月15日発表の数字を変更していません。

上記の予想は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、上記予想と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,173	10,053
受取手形及び売掛金	19,487	18,638
商品及び製品	3,850	3,859
仕掛品	1,225	1,218
原材料及び貯蔵品	2,438	2,417
その他	1,088	1,198
貸倒引当金	△11	△10
流動資産合計	38,251	37,374
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,700	7,747
機械装置及び運搬具(純額)	11,132	11,668
土地	5,608	5,620
その他(純額)	2,366	2,351
有形固定資産合計	26,807	27,387
無形固定資産	878	885
投資その他の資産		
投資有価証券	744	728
その他	903	932
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,646	1,659
固定資産合計	29,333	29,933
資産合計	67,584	67,308

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,159	11,871
短期借入金	7,896	7,779
未払法人税等	237	234
賞与引当金	733	456
その他	5,754	5,902
流動負債合計	26,780	26,243
固定負債		
長期借入金	3,135	3,355
退職給付に係る負債	2,099	2,133
役員退職慰労引当金	840	240
その他	2,692	2,826
固定負債合計	8,767	8,554
負債合計	35,548	34,798
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,395	1,395
資本剰余金	1,576	1,576
利益剰余金	27,248	27,479
自己株式	△951	△951
株主資本合計	29,268	29,500
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	120	106
繰延ヘッジ損益	△0	△3
為替換算調整勘定	245	472
その他の包括利益累計額合計	365	575
非支配株主持分	2,402	2,433
純資産合計	32,036	32,509
負債純資産合計	67,584	67,308

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	19,432	19,117
売上原価	16,039	16,084
売上総利益	3,392	3,032
販売費及び一般管理費	2,538	2,549
営業利益	854	483
営業外収益		
受取利息	13	13
受取配当金	3	3
為替差益	104	—
その他	68	29
営業外収益合計	190	46
営業外費用		
支払利息	32	39
持分法による投資損失	7	2
為替差損	—	56
その他	6	9
営業外費用合計	46	108
経常利益	998	420
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	—	258
特別利益合計	—	258
特別損失		
投資有価証券評価損	—	1
特別損失合計	—	1
税金等調整前四半期純利益	998	677
法人税、住民税及び事業税	249	203
法人税等調整額	45	1
法人税等合計	295	205
四半期純利益	702	472
非支配株主に帰属する四半期純利益	68	75
親会社株主に帰属する四半期純利益	634	397

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	702	472
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13	△13
繰延ヘッジ損益	△1	△3
為替換算調整勘定	△986	233
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	6
その他の包括利益合計	△1,009	223
四半期包括利益	△306	695
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△268	607
非支配株主に係る四半期包括利益	△37	88

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社における税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	機能品	防振	金属加工	ホース	産業機器			
売上高								
外部顧客への売上高	8,560	7,482	1,696	855	837	19,432	—	19,432
セグメント間の 内部売上高又は振替高	127	0	19	21	—	168	△168	—
計	8,688	7,482	1,716	876	837	19,601	△168	19,432
セグメント利益 又は損失(△)	707	728	26	△20	100	1,542	△688	854

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△688百万円には、セグメント間取引消去27百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△716百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	機能品	防振	金属加工	ホース	産業機器			
売上高								
外部顧客への売上高	7,917	7,719	1,786	942	750	19,117	—	19,117
セグメント間の 内部売上高又は振替高	130	—	16	17	—	164	△164	—
計	8,047	7,719	1,802	960	750	19,281	△164	19,117
セグメント利益	422	700	8	8	76	1,216	△733	483

(注) 1. セグメント利益の調整額△733百万円には、セグメント間取引消去32百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△766百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、組織構造の変更に伴い、従来「新事業」セグメントとしていた報告セグメントを「産業機器」セグメントに名称変更しております。また、「産業機器」セグメントに含めていた事業の一部を全社費用に含める方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。